お客さまへ

ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後、爨 大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

禁 生 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに 結びつく可能性があるもの

器具の改造や指定部品以外の交換はしない。 (火災・感電・落下の原因)

器具やランプを布や紙などで覆わない。 (可燃物をかぶせて使うと火災の原因)

器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。 (火災・感電の原因)

禁止 注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または 家屋・家財などの損害に結びつくもの

お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士など の資格が必要です。 (火災・感電の原因)

ランプに塗料などを塗らない。 (ランプが過熱・破損してけがの原因)

器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置か (過熱して火災の原因) 節電その他の理由でランプを取り外して間引き点灯

ランプは落としたり、(物を) ぶつけたり、無理な 力を加えない。 (ランプが破損してけがの原因) スイッチの引きひもを強く引いたり、はじいたり | 斜めに引かない。また、ランプにからませない。 (破損して落下の原因)

器具は指定の制御装置と組み合せて使う。 (過熱して火災の原因)

明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保 守・点検を行う

- 点検

しない。

■6ヶ月~1年に1回、機能(非常点灯持続時間と切替動 作) の点検を行う。[建築基準法施行規則第6条]

■48時間以上充電後、非常点灯持続時間が30分以下とな ったら蓄電池を交換する。

交換

清掃

適合ランプ FHF32 FL40S (EX) FL40SS (EX) /37 FLR40S (EX) FLR40S (EX) /36

三菱電機オスラムランプを Γ ∕ ∕ 注 意 使用してください。

光束値の違うランプに交換 する場合、照度範囲がかわ ります。 ┌⚠警告

器具・ランプを水洗いし ない(火災・威雷の原因)

○やわらかい布にぬるま湯または水をつけて よく絞ってふきとってください。

- ○点灯中及び消灯直後のランプや器具には触ら ない (高温のためやけどの原因)
- ○ランプはソケットに確実に取付ける (取付けが不完全な場合落下の原因)
- ○使用済みのランプは不用意に割らない (ガラスが飛散してけがの原因)
- ○ソケットの清掃に洗剤を使用しない (洗剤でソケットが破損しランプ落下の原因)

蓄電池の交換 一 企 警告 電源スイッチを切ってから行う (感電の原因)

FBH4032EA FBK4032EA 8N25DA 4N25DA 適合蓄電池 蓄電池の交換は必ず当社指定の純正部品を使用してください。

- 🔨 警告: 蓄電池は ショート・分解・加熱・変形させない また、火中に入れない(やけどや衣類損傷の原因)



この製品には、ニカド電池を使用しております。 ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源で す。ニカド電池の交換及びご使用済み製品の廃 棄に際しては、ニカド電池を取り出し、回収拠 Ni-Cd 点へお持込みください。詳細は弊社カタログを ご覧ください。

インバータ器具の取扱い・

- |■赤外線リモコン方式のテレビ・ラジオなどは、照明器具から離し |■器具の近くでワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入 てご使用ください。(雑音が入ったり、正常に作動しない場合があります。)
- ■受信電波が弱い場合には、AMおよび短波放送では雑音
 ■放送設備などの音声信号や映像信号は微弱なため、電源 が入る場合があります。
- り正常に作動しない場合があります。
 - 線や安定器の配線からの雑音を受けることがあります。

保証について ■保証期間は商品お買上げ日より1年間です。ただし、蛍光灯器具内蔵の安定 器は3年間です。ランプ、グロー点灯管、電池などの消耗品は対象外です。詳細は弊社カタログをご参照ください。

異常時の処置

- 🕂 警告 煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。 (火災・感電の原因) 煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

この説明書は、 再生紙を使用 しています。



連絡先 三菱電機照明株式会社 ☎(0467)41-2/29 (音楽紅籍印)

〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40 ☎(0467)41-2729(営業統轄部)

このたびは三菱照明器具をお買上げいただき ありがとうございました。

E767Z221H23

保管用

三菱非常用照明器具【蓄電池内蔵形】(高調波ガイドライン適合品)

Easyeco^変 ファインベース 埋込形【連続調光形】

FBH4032EA EDG

PX, PZ (公共施設: K1-FRS18-322 使用ランプFHF32)

FBK4032EA EDG, PX, PZ

○この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また アフター サービスもできません。

○電源周波数50Hz、60Hz共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。

取扱説明書

○施工の前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。 施工者さまへ 〇晩上の前に、この取扱説明書を必りお読みがつ

安全のために必ず守るこ

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、 ▲ 警告、▲ 注意の表示で区分して説明しています。 表示の意味は表中で説明しています。

器具取付けの際は電線を挟まない。

(絶縁不良により感電・火災の原因)

図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わない でください。

必ず指示に従い 行ってください。

引火する危険のある雰囲気で使わない。(ガソリン・ 可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのあ る所で使わない) (火災の原因)

禁止

配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。 (絶縁破壊により感電・火災の原因)

電源線は器具の外郭に直接触れない。 (過熱して火災の原因)

施工は電気設備の技術基準・内線規程に従い行う。

注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または 家屋・家財などの損害に結びつくもの

高温(35℃以上)、粉じん、油煙の多い場所、強い 振動・衝撃のある場所で使わない。(落下・感電・ 火災の原因)

さびの出やすい場所、腐食性ガスの出る場所で使わ ない。 (劣化による落下の原因)

器具は乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面に は取付けない。

(絶縁不良やさびにより感電・落下の原因) 風呂場など水や湿気の多い場所で使わない。

雨水のかかる場所で使わない。

(水気・湿気が入り感電の原因)

(火災・感電の原因)

器具の外郭が天井内の造営材・ダクトに触れない。 (火災・感電の原因)

表示された電源電圧以外では使わない。 (火災・感電の原因)

(器具が過熱して火災の原因)

禁止

器具のノックアウトを外す場合はドライバー等によ り電線を傷つけない。 (絶縁不良により感電・火災の原因)

狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して 使う場合は、放熱を妨げない。

お願い

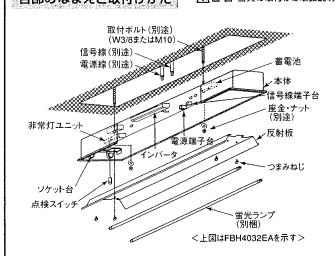
整正

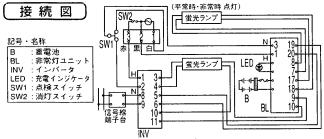
■周囲温度は5~35℃の範囲でご使用ください。

- ■直射日光や、空調機器等の排気口・温風吹出口付近の 取付けはお避けください。(蓄電池の寿命が低下するこ とがあります。)
- ■インバータ器具の場合は、電力線搬送を使用した機器 と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動し ない場合があります。
- ■器具と半導体スイッチ式人感センサスイッチを組合せ るとチラツキや騒音の発生、インバータ故障の恐れが あります。リレー接点式人感センサスイッチをご使用 ください
- ■商品監視システム(防犯センサー)の一部の機器はイン バータの周波数と干渉して誤動作する場合があります ので、事前に商品監視システムのメーカーにご確認く ださい。

平常時は2灯点灯します。非常点灯時は、1灯のみが下表の光束値で点灯します。

| | FBH4032EA | | | FBK4032EA | | |
|---------------------|------------------|-----|-----------------|-----------------|-----|-----------------|
| ランプ | ランプ定格 光束 (Im) | 光束比 | 非常点灯時 光束(Im) | ランプ定格 光束(lm) | 光束比 | 非常点灯時 光束(lm) |
| FHF32EX | 3200 | 60% | 1920 | 3200 | 30% | 960 |
| FL40SW (SSW/37) | 3100 | 50% | 1550 | 3100 | 25% | 775 |
| FL40S.EX (SS.EX/37) | 3560 | 50% | 1780 | 3560 | 25% | 890 |
| FLR40SW (/36) | 3000 | 50% | 1500 | 3000 | 25% | 750 |
| FLR40S.EX (/36) | 3450 | 50% | 1725 | 3450 | 25% | 863 |





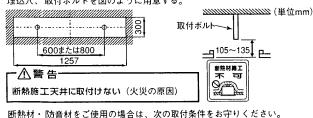
取付前の確認

器具質量に十分耐えるよう、取付ボル トの強度を確保する。

- ⚠ 警 告 器具の取付けは質量に耐える所 に取付ける (落下の原因)

2 天井に埋込穴をあける

埋込穴、取付ボルトを図のように用意する。

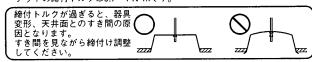




3 器具本体をボルトに取付ける

(1)使用する電源穴に付属のコードブッシュをはめ込む。 一人 警告・ (2) 電源線・アース線・信号線を器具本体のブッシュ付

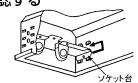
穴から引き込んでおく。 (3) 本体を取付ボルトに確実に取付ける。 ナットの締付トルクは0.7~1 N·mです。 取付けが不完全な 場合落下の原因



4 ソケット台の位置を確認する

(オプション取付の場合のみ)

- ●ソケット台は上下2段移動形になって います。
- ●器具出荷時には下側にセットするので、 オプションを取付ける場合はソケット 台を上に移動させる。
- ●ソケット台は差し込み式ですので簡単 に移動できます。



電源線を電源端子台に接続する

- (1) 電源線を電源端子台の差し込み穴に確 実に差し込む。
- (2)アース線を差し込み穴に確実に差し 込む。
- <D種(第3種)接地工事が必要です。> ○電源端子台の容量は20Aです

○適合電線: ø 1.6mm単線 ø 2.0mm単線 ○電源線は専用回路にする。

一八警告 接続が不完全な場合は、接続不 良による発熱により火災の原因

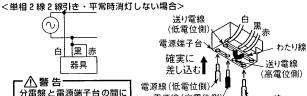
⚠警告

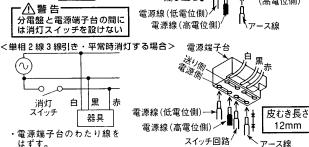
アース工事は電気設備の技術基 準に従い行う(アース工事が不 完全な場合は感電・火災の原因)

- ⚠ 警 告-送り配線は非常用照明器具専用とし、容量を確認 して接続する(容量を超えると電源端子台が過 熱・損傷し火災の原因)

電源の接続は適合太さの電源線を指定長さに被覆 をむき、1本ずつ速結端子の奥まで差し込む(差 し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因)







- ○通電後、蓄電池のコネクタを接続してください。通電しないで蓄電池のコ ネクタを接続したまま放置すると、蓄電池が過放電します。
- ○使用開始まで時間がある場合は、消灯するまで放電させた後、蓄電池のコ ネクタを外してください。
- ○電源線接続の速結端子の電源線を取り外すときは、幅 6 mmのマイナスド ライバーを、はずし穴にまっすぐに差し込んでください。

6 信号線を信号線端子台に接続する

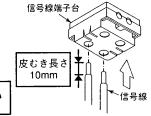
信号線を信号線端子台の差し込み穴に 確実に差し込む。

適合信号線 φ0.9mm~φ1.2mm ĆPEV-1P

接続が不完全な場合、動作不良の 原因となります。

-/҈(警告-

信号線端子台には電源線を接続しない (過熱・損傷し火災の原因)

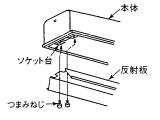


✔ 反射板を取付ける

付属のつまみねじ 4本で反射板を 本体内部に取付ける。

- ∕ ໂ 注 意 •

取付けが不完全な場合落下の原因



8 ランプを取付ける

ランプを確実に装着する。

- 爪 注 意-取付けが不完全な場合落下の原因

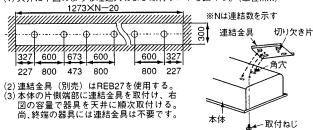
点灯を確認する

(1) 非常点灯しない場合

- ・畜電池と非常灯ユニットのコネクタははずれていませんか。
- ・蓄電池のヒューズは溶断していませんか。 ・蓄電池は48時間以上充電してありますか。
- (2) 充電インジケータ (緑色の表示ランプ) が点灯しない場合
- ・電源は通電されていますか。
- ・蓄電池と非常灯ユニットのコネクタははずれていませんか。
- ・蓄電池、非常灯ユニットのヒューズは溶断していませんか。

10 連続取付の場合

(1) 天井に下図のような埋込穴および取付ボルトを設ける。(単位mm)



お客さまへ

ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、 大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、 ⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。

表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。



絶対に行わないで 必ず指示に従い行 ってください。

巻 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに 結びつく可能性があるもの



器具の改造や指定部品以外の交換はしない。 (火災・感電・落下の原因)

器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。 (火災・感電の原因)

器具やランプを布や紙などで覆わない。 (可燃物をかぶせて使うと火災の原因)

注意 誤った取扱いをしたときに、場合また 家屋・家財などの損害に結びつくもの 誤った取扱いをしたときに、傷害または



器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置か ない。 (過熱して火災の原因)

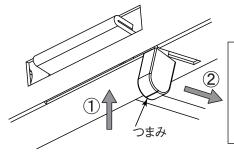


|明るく安全にご使用いただくために半年に 1 回の保 守・点検を行う。

「ランプ交換・器具の清掃」

<ランプ交換>

- (1) ① オプションを軽く押上げ、② ラッチのつまみを スライドさせる。
- (2) ラッチが外れるとオプションが片開きするので、 容易にランプ交換ができます。



 / 注意 点灯中及び消灯直 後のランプや器具 には触らない (高温のためやけど の原因)

<清掃>

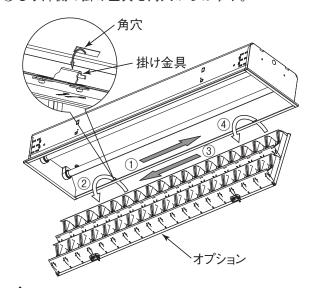
- ○金属部品(ルーバ)の汚れは極細繊維の布でから拭きし てください。汚れのひどい場合は極細繊維の不織布に曇 りのでない帯電防止スプレーを吹き付け、汚れた部分の みを拭いてください。
- ○水及び洗剤での丸洗いはお避けください。(金属部のサ ビの原因となります。)
- 洗剤を含ませた布、クリーン用ウエット紙、化学ぞうき んでは、曇りまたはシミが残りますのでおやめください。
- ○カバーなどプラスチック部分には次のものを使用しない でください。

湯または水をつけてよく絞ってふきとってください。

- ・みがき粉やたわし ・殺虫剤 ・熱湯
- ・シンナーなど揮発性のもの ・洗剤 ・薬品 ○ランプ・プラスチックの汚れは、やわらかい布にぬるま

<オプションのはずし方>

- オプションを片開きさせた状態で掛け金具をはずす。 ①オプションを片開きさせた状態でオプションを 外側へ ずらす。
- ②ずらした方向と反対の掛け金具を角穴からはず
- ③②の状態でオプションを外側へずらす。 ④もう片側の掛け金具を角穴からはずす。



−≜警告

器具・ランプを水洗いしない (火災・感電の原因)

保証について

■保証期間は商品お買上げ日より1年間です。ただし、蛍光灯器具内蔵の安定 器は3年間です。ランプ、グロー点灯管、電池などの消耗品は対象外です。詳細は弊社カタログをご参照ください。

異常時

一爪警告

煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。(火災・感電の原因) |煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

この説明書は、 再生紙を使用 しています。

三菱電機株式会社 連絡先 三菱電機照明株式会社 ☎(0467)41-2773 (品質保証部サービス課)

〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40 ☎(0467)41-2729 (営業統轄部)

MITSUBISHI

E762Z478H22 このたびは三菱照明器具をお買上げいただき ありがとうございました。

保管用

三菱蛍光灯器具用部品

ファインベース **〈 FB45122E . FBH4082E . FBK4082E 〉** 用オプション

^{形名} L45232 (公共施設: FRS18L3V-322 用オプション 使用ランプ FHF32)

(公共施設:K1-FRS18L3V-322 用オプション 使用ランプ FHF32)

L45022 (公共施設: FRS18L3G0-322 用オプション 使用ランプ FHF32)

(公共施設: K1-FRS18L3G0-322 用オプション 使用ランプ FHF32)

取扱説明書

○この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。 また アフターサービスもできません。

○施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。

○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

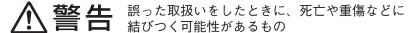
安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、 ⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。 表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないで ください。

② 必ず指示に従い行ってください。 ってください。





器具の取付けは質量に耐える所に取付ける。

(落下の原因)

(火災・感電の原因)

注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または 家屋・家財などの損害に結びつくもの

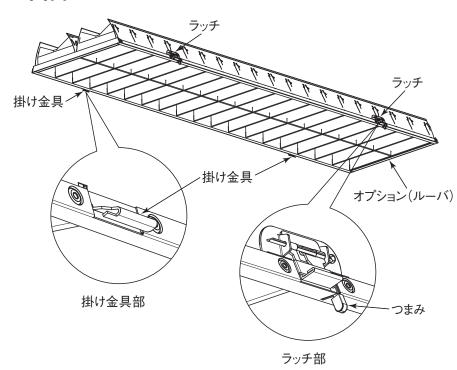


さびの出やすい場所、腐食性ガスの出る場所で使わ ない。 (劣化による落下の原因)

風呂場など水や湿気の多い場所で使わない。

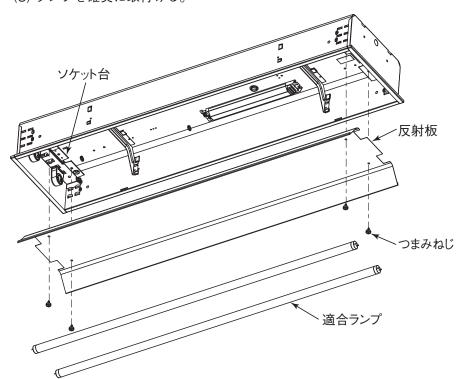
雨水のかかる場所で使わない。 (水気・湿気が入り感電の原因)

1 各部のなまえ



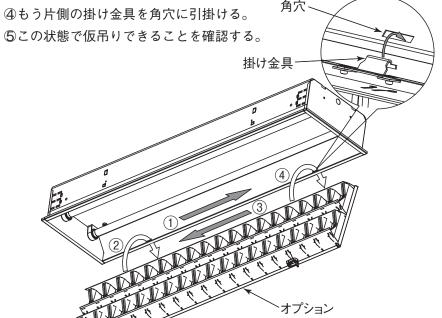
2 取付の準備(器具本体)

- (基本形本体のソケット台は上下2段移動形になっています。 下段にはめ込まれたソケット台を一旦引き抜き、 上段の取付位置に差込んでください。)
- (2) 基本形本体の反射板をつまみねじで確実に取付ける。
- (3) ランプを確実に取付ける。



3 オプションの取付

- 金属 OA ルーバ オプション取付の前には必ず同梱の手袋を着用 してください。
- (1) オプションを基本形本体に引掛ける。
- ①オプションを外側にずらす。
- ②オプションの掛け金具の片側を基本形本体の角穴に引掛ける。
- ③②の状態でオプションを外側へずらす。

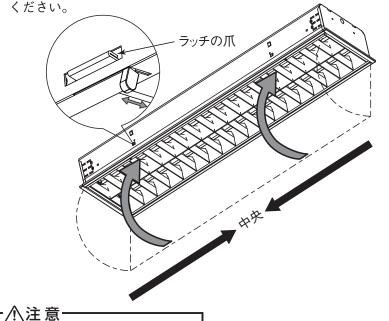


(2) オプションを固定する。

取付けが不完全な場合落下の原因

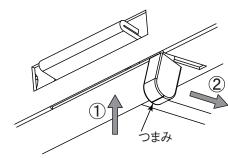
- ①オプションを基本形本体の中央に来るようずらす。
- ②ラッチの爪が基本形本体の角穴に入り込むまでオプションを押し上げる。
- ③ラッチの爪が2ヶ所とも確実に入ったことを確認する。

非常灯の場合、点検スイッチ引きひもをオプションの升目より引き出して ください。



4 ランプの交換

- (1) ①オプションを軽く押上げ、②ラッチのつまみをスライドさせる。
- (2) ラッチが外れるとオプションが片開きするので、容易にランプ交換が できます。



5 オプションのはずし方

- きさせた状態で掛け金具をはずす。
- ①オプションを片開きさせた状態でオプションを外側へずらす。
- ②ずらした方向と反対の掛け金具を角穴からはずす。
- ③②の状態でオプションを外側へずらす。
- ④もう片側の掛け金具を角穴からはずす。

